

あし ば 葦葉 同窓会だより



令和8年3月吉日
発行：滋賀県立農業大学校葦葉同窓会
滋賀県近江八幡市安土町大中503
TEL 0748-46-2551 FAX 0748-46-2552
メールアドレス：gc61@pref.shiga.lg.jp

ごあいさつ



葦葉同窓会会長
久保田 九

会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より同窓会活動に格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

振り返れば2025年は、日本初の女性内閣総理大臣の誕生、日経平均株価の過去最高更新、アメリカのトランプ大統領再選に伴うトランプ関税、中国による制裁など、国内外で大きな転換点となる出来事が相次ぎました。農業分野においても、令和の米騒動に端を発した米価高騰や備蓄米の放出、猛暑による水不足など、まさに激動の一年でありました。

一方で、令和7年産米は過去最高水準の米価となり、稲作経営にとつて久しぶりに安定が感じられる年でもありました。しかし、米離れや輸入米の増加など将来への不安材料は依然として多く、安定が長く続くとは言いい切れません。加えて、生産現場では高齢化による担い手不足、少

子化による後継者難、気候変動に伴う病害虫の多発、農業機械・資材の高騰など、課題は山積しています。限られた農家数で広大な農地を維持していくためには、基本技術の確実な習得に加え、AI・ドローン・自動運転・可変施肥といったスマート農業の導入を進め、少人数でも効率的に作業できる体制づくりが不可欠です。また、地域計画を活用した農地の集積・集約、合筆の推進も重要な取り組みとなります。

農業大学校におかれましては、こうした変化の激しい農業情勢を踏まえた教育がますます期待されます。インスタグラムでの情報発信に加え、小中学校・高等学校・地域への広報活動にも力を入れていただければ幸いです。

弊社株式会社力ネクには農業大学校の卒業生4名が入社し、中心的な戦力として活躍しています。卒業生は現場で即戦力となるだけでなく、経営の一翼を担う人材としても大いに期待できる存在です。

近年、農業大学校では入学者が減少し、定員割れとなる年も見受けられます。会員の皆様には、ご子息やお知り合い、地域の若い方々へぜひ農業大学校をご紹介いただき、担い手育成の輪を広げていただければ幸いです。

皆様の益々のご健勝とご多幸をお

◆事務局から連絡

「葦葉同窓会だより」を農業大学校のホームページで見たい、見たい、見たい。今後は、印刷物としての発行から電子版での発行も検討しており、発行時には農業大学校のインスタグラムに掲載し、お知らせする予定です。今後、印刷物の郵送を希望されない方は、メールまたはFAXで事務局（農業大学校）まで連絡ください。併せて、農業大学校のインスタグラムのフォローもお願いします。



農大ホームページ
「葦葉同窓会だより」

農大インスタグラムより



祈り申し上げますとともに、今後とも同窓会活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

◆学校の動き◆



校長(令和7年度)
濱中 正人

日頃、葦葉同窓生の皆さまには、本校の実践教育活動に温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

令和7年度より農業大学校に着任いたしました。これまでの歴史を大切にしながら、より良い農大づくりに少しでも力を尽くしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、2025年農林業センサスの滋賀県概数値が公表されました。これまで以上に、規模の大きい経営体が農地を集積・集約しながら滋賀県農業を担う構造になってきました。

こうした状況の中で、「土地利
用型経営における後継者や中核的な人材」、「地域で輝く園芸経営体」の育成など、農業大学校の取組がますます重要になっており、本校の魅力を高め、その魅力をしつかりと発信していく必要があると感じております。

少し、本校の状況を報告させていただきますと、令和6年度は30名の卒業生のうち、19名が就農し、担い手育成に大きく貢献できました。

一方、令和7年度の入学生が17名と定員を大幅に下回り、若者の減少が進む中で、しっかりと対策を打つ必要があると認識してまいります。

そこで、来年度からは、より実践力が高まるよう、一部カリキュラム等の見直しを図ったところであります(表)。具体的には、2年間という限られた学生生活の中で、自身の将来像をしっかりと描いてもらうため、「キャリアデザイン」の科目を導入する予定です。

併せて、近年のオーガニック農業など国の施策に対応するため「みどり戦略」の科目も新設し、実習などの強化も図っております。

また、実習に活用する機械についても、令和6年度には6条田植え機を、令和7年度には自動直進型トラクタを導入しました。限られた予算ではありますが、学生が学ぶための整備についてもしっかりと整えていきたいと考えています。

本校の大きな魅力は、①現場に直結する技術や資格取得ができる「実践教育」であること、②卒業

生や教員、普及指導員、専門家など、一生の財産になる「強力なネットワーク」を作ることができ、③専修学校として奨学金などが活用できる「充実したサポート」があることと考えています。これらはいずれも、同窓生の皆さまのご活躍とご支援に支えら

(表) カリキュラムの見直し(令和8年度入学生から適用)

【教養科目】	
倫理Ⅰ	→ キャリアデザインⅠ
英語	
倫理Ⅱ	→ キャリアデザインⅡ
地理	
【専門共通科目】	
環境と農業	→ 環境と農業 みどり戦略Ⅰ
6次産業化	→ 6次産業化 みどり戦略Ⅱ
【専攻科目】	
講義系	→ 実習系の配分を高める
実習系	→ (1年次・2年次の配分見直し)



6条田植え機

トピックス

滋賀銀行様より 播種機を寄贈



れていると考えています。こういった魅力をしつかりと高
校生や就学を希望する方へ届け、
今後も、地域農業の発展に寄与す
る人材を育ててまいりたいと考え
ております。引き続き、温かいご
理解とご協力を賜りますようお願い
申し上げます。

滋賀銀行様では、SDG
sに賛同する企業が発行す
る私募債を引き受け、発行
時の手数料の一部を拠出し
て学校等への物品寄贈・金
銭寄付することを通じ、環
境・社会に幅広く貢献する
ことで、持続可能な地域社
会の実現を支援する活動を行
ってまいります。このた
び、株式会社リンク様より、
この活動を通じて農業大学
校へ物品寄贈の申し出があ
り、人力用ロー式播種機
の寄贈をいただきました。



蒲生郡日野町「株式会社ひのでファーム」に就職就農しています。水稲や野菜を栽培し、お米は一部JAS認証を取得。日野町内の学校給食用で月に一回出荷もしています。野菜は主にイチゴ・トウモロコシ・トマト・キャベツ・ブロッコリーなどを栽培し、観光農園として季節ごとにイチゴ狩りやトウモロコシ狩りを行っています。



山本 真世さん
平成30年度卒業

ん。失敗することもありますが一つひとつの経験を糧にしながら、創意工夫を重ねて、これからも地域の農業を守っていききたいと思っています。

「ここでもしか味わえない」良さを体験していただき、すべての世

代へ安心安全と美味しいを届けたという思いで日々楽しく仕事しています。

ひのでファームでは、自分が栽培してみたい作物や栽培方法があれば社長に提案し挑戦することもできます。既存の方法や常識に捉われないことなく、「農業の当たり前」をぶち壊し視野を広げ、多方面から物事を見ることも大切にし、自分たちらしさを磨き他にない良さを出して行きたいです。



植出奈緒美さん
令和5年度卒業

「良い物」をお客さんに提供するのには自分たちが疲弊しては意味がないので、作り手である自分たちが心身ともに健康であることを大切にしています。

「良い物」をお客さんに提供するのには自分たちが疲弊しては意味がないので、作り手である自分たちが心身ともに健康であることを大切にしています。

「良い物」をお客さんに提供するのには自分たちが疲弊しては意味がないので、作り手である自分たちが心身ともに健康であることを大切にしています。

甲賀市甲南町稗谷にて自営就農しています。

農業を通じて感じられるときめきを多くの人に届けたいと思うようになり、高校卒業後は農大に進学しました。卒業後は甲賀市内の指導農業士さんのもとで研修を受けました。その後、令和7年にト

マトで新規就農しました。

祖父の田んぼで何かしたいという想いを胸に地域で過ごす中で、まだ若く、経験も十分とは言えない立場ではありましたが、しかし、農業に誇りを持ち地域を支えておられる方々の姿に触れ、早い段階ではありながらも就農を決意し、自分もその一員として農業に向き合いたいと思うようになりました。

就農してからは、自分一人ではできないことも多くありましたが、たくさんの方々を支えていただき、一年を迎えることができました。一年は本当にあつという間で、とても充実した日々を送っています。教えていただいたことを一つひとつを自分の力にできるよう、日々の積み重ねを大切にしていきたいです。



◆学生募集のお願い◆
オープンキャンパスを6月、9月、3月に実施する予定です。対象は農業大学校養成科へ入学を希望される方または関心のある方、および保護者の方です。学年や年齢を問いませんので、皆様の御兄弟や地域で就農を目指しておられる方を御紹介いただきましたら、農業大学校を御紹介いただきますようお願いいたします。詳しくは、ホームページ等お知らせします。

◆あしば同窓会協力金のお願い◆
あしば同窓会の活動は、大学卒業時にお一人金8,000円を終身会費として徴収させていただいている会費で運営しており、会報の発行や成績優秀者への副賞の授与を行っています。

今後、さらに在校生を応援する活動をしていきたいと考え、同窓会会員の皆様から協力金を募らせていただいています。これまでに、大澤宏史様、北川良治様、久保田九様、柏本健一様よりいただきました。協力金の使途は、役員会で決定させていただきます。会報にて報告させていただきます。皆様の御協力をお願いします。

協力は金は一〇二、〇〇〇円で、各金融機関に備え付けの振込用紙に必要事項を記入の上、左記の口座に振り込みいただけますようお願い申し上げます。

◆振込先◆
金融機関…滋賀銀行 安土支店
口座名義人…あしば同窓会
会長 久保田 九
クボタ ヒサシ
店番・口座番号
352・143205